

福島県浜通り 環境放射線研修

研修の趣旨
事前講義概要

放射線科学基盤機構 藤原 智子

東日本大震災

2011年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震
およびこれに伴う福島第一原子量発電所事故

大地震の後に発生した津波により

福島第一原子力発電所は電源を失い

原子炉を冷やすことができずコントロールできなくなった。

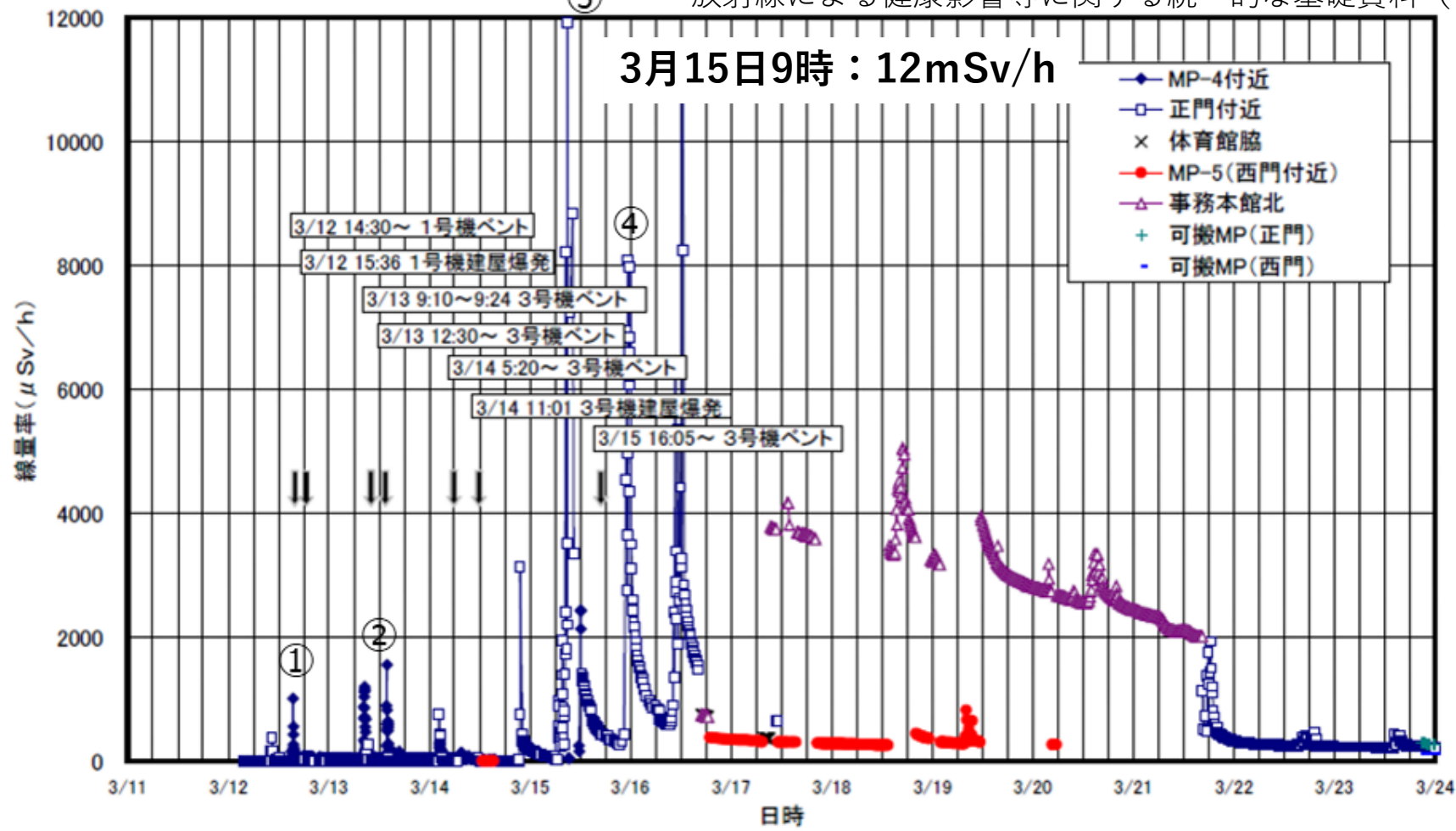
原子炉の中で大量の水素が発生し爆発（核爆発ではない）

放射線物質の環境への漏洩

事故直後から二週間の空間線量率

●東京電力福島第一原子力発電所モニタリングカーにより測定された空間線量率の推移

③ 放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（令和7年度版）

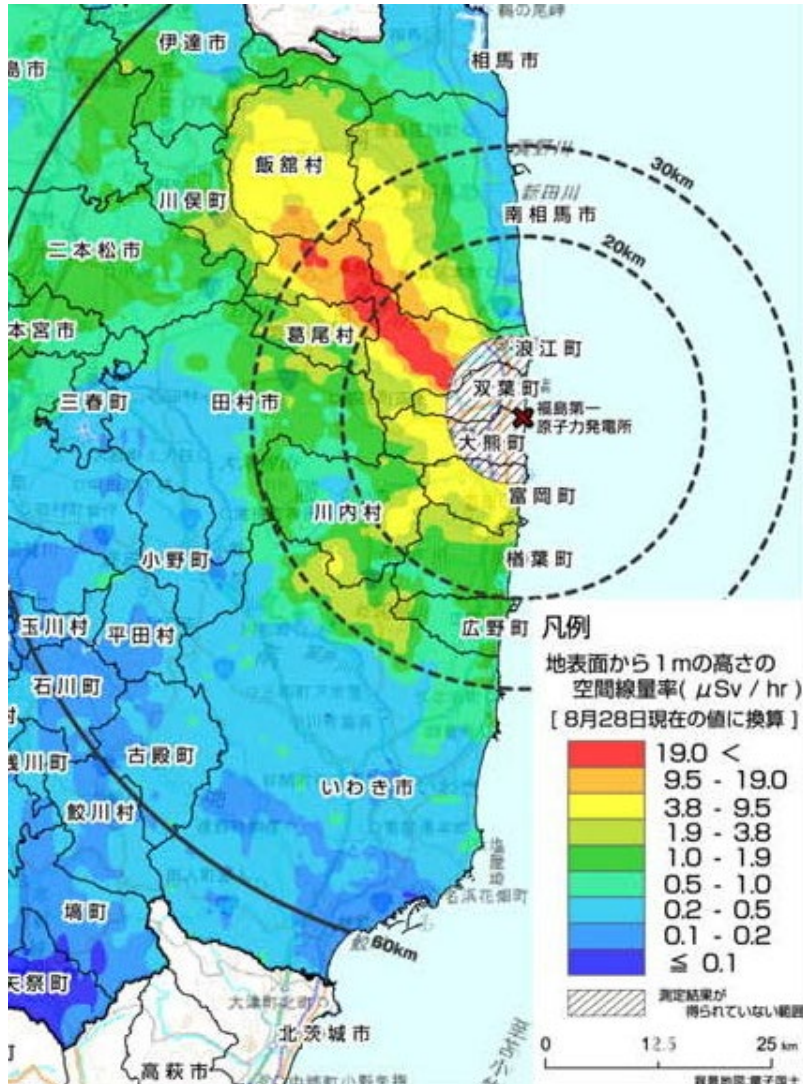


国際原子力機関に対する日本国政府の追加報告書-東京電力福島原子力発電所の事故について-第2報

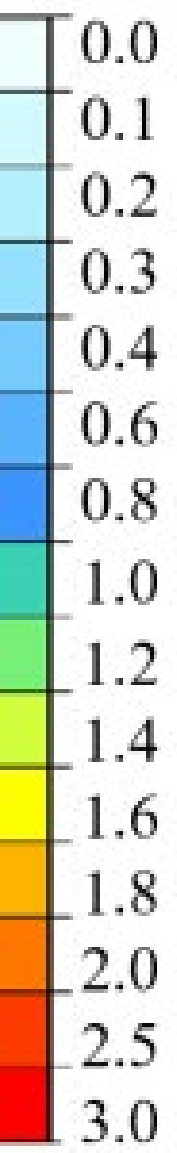
μSv/h : マイクロシーベルト/時間

原子力規制庁

事故後の空間線量率



- 原発から離れた位置にあったが、風によって北西方向に放射性物質が流され1Fから40kmの距離にある飯舘村にまで到達した。



(Sv/h)

行動のはじまり

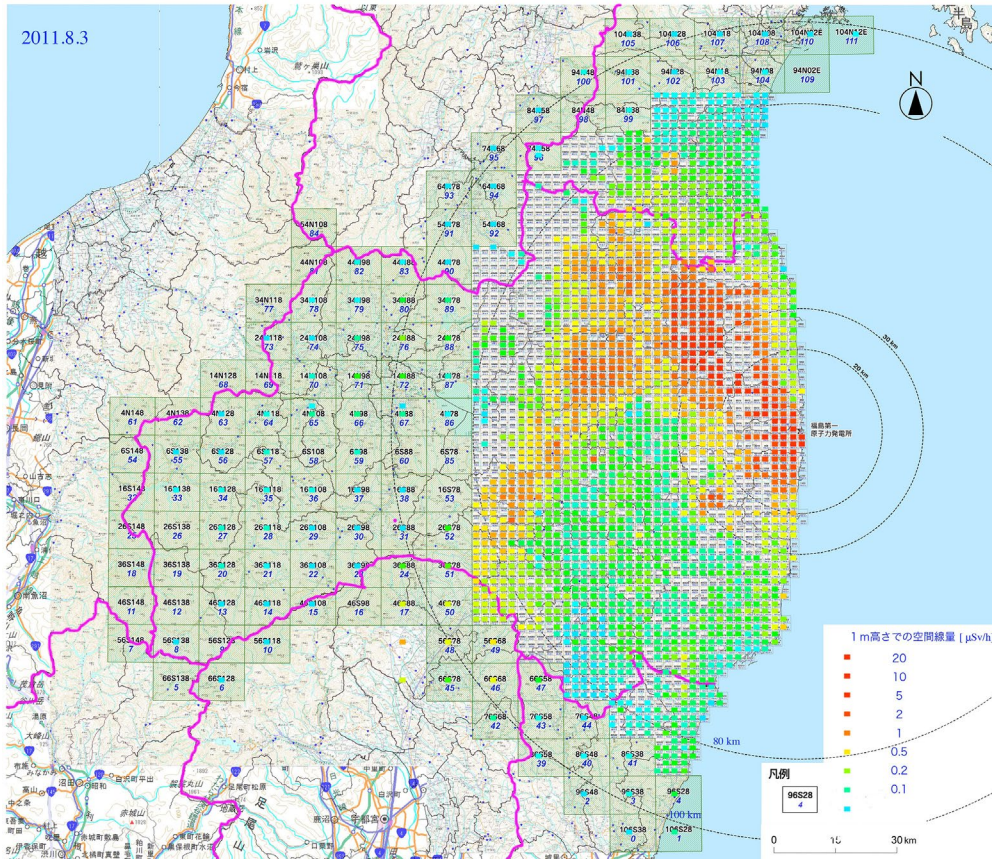
- 放射線を道具に研究する者として何かできないか？
- 直後、大阪大学が中心となって福島県における土壌の大規模放射能測定を開始

福島土壤調査

1. どんな放射性元素が、
2. どれくらいの量
3. どんな地域に分布して

土壤に沈着してしまったか？

- 97機関409人の科学者、学生、企業人が空間線量測定・土壤採取に参加！
- 21機関340人の科学者や、学生が γ 線の測定に参加！
- 全2200カ所で調査
 - 1 m高さでの空間線量（現地で測定）
 - 5cm深さの土壤を採取し γ 線量測定
1地点で5個採取（約11000サンプル）
 - 30cm深さのコア土壤資料を約300カ所で採取、 γ 線測定でCsの浸透分布を測定



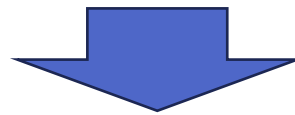
研修HPリンク→福島県浜通り!プロジェクト

行動のはじまり

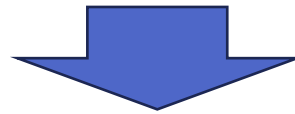
- 放射線を道具に研究する者として何かできないか？
- 直後、大阪大学が中心となって福島県における土壌の大規模放射能測定を開始



- ・ 新しい放射性物質の放出は無いが、拡散された放射性物質はどうなるのか？
- ・ 平地は除染が行われたが、除染されていない山林は今後どうなる？



除染されていない山の土壌や葉の定点観測を開始する



この経験を明日の世界を担う学生と共有すべき！

福島県浜通り環境放射線研修では

座学では、我々をとりまく放射線と環境への正しい理解や、被災地の復興へ向けての考え方、判断するための基礎を習得することを目的とします。

現地研修では、福島県飯舘村や大熊町、双葉町を訪れ、放射線がある場所に身を置き、実際の作業もしながら、その地の状況を総合的に学ぶ研修を行います。

現地での体験を通して、学生一人一人が自ら考え行動に移す力を身に付けてもらうことが目標です。

福島県浜通り環境放射線研修では

放射能による環境汚染が起こってしまった場所で
起こっていることを理解するために、

- 放射線環境に関連した自然科学の基礎知識を得ること、
- 放射線環境がもたらす社会的影響に関する基礎知識を得ること、
- 放射線環境を理解する上でのフィールドワークを経験すること、
- 関連した科学的・社会的問題を体験すること、
- このような環境をどう改善していけば良いのかを考えること、

を目的とします。

**正解はありませんし、解は一つではありません。
それぞれが自分なりの解を見つけてほしい。**

活動内容

事前講義

6月20日（土）、6月27日（土）、7月11日（土）

現地研修

第一回 8月23日（日）～8月28日（金）

第二回 9月7日（月）～9月12日（土）

成果報告会

第一回 10月3日（土）

第二回 10月11日（土）

発展放射線実習（希望者のみ）

研修終了後、日程調整

自治体報告会（代表者のみ）

研修終了後、日程調整(例年2月)

参加大学

2026年度参加申込数

6月19日

	新規	チューター	合計
大阪大学	28	17	45
明正学院大学	1	0	1

学年 B1～D4（留学生を含みます）
チューター（2回以上参加の学生） 28名
教員 のべ 36名

東北	東北大学	16	4	20
	尚綱学院大学	6	3	9
	福島大学	6	3	9
	福島県立医大	6	1	7
	合計	79	28	107

事前講義・現地研修の注意点

- ・ 質問歓迎です。
話の途中でも疑問に思ったことがあれば！
- ・ 事前講義はすべて録画しています。
参加者・関係者内で公開します。欠席の学生が見るのはもちろんですが
今参加している皆さんの復習にも活用してください。
- ・ 事前講義・現地研修ともに記録のため写真をたくさん撮影します。
研修について紹介したり、報告するときに使用します。

写真が公開されて困る方は教職員に連絡してください。
全力で配慮します。不利益はありません。

事前講義資料

第二回第三回の
実習の資料です。
予習推奨

Top

実地研修 ● Field Study 🇬🇧 事前講義 ● Prelecture 🇬🇧

- 事前講義資料
- 事前講義スケジュール [2026.6.09] [pdf]
- 試料採取 (サンプリング)
- 試料採取実習の手順書 [2026.6.09] [pdf] NEW!!
- 5cm土壌 [2026.6.09] [video] NEW!!
- 30cm土壌 [2026.6.09] [video] NEW!!

研究資料 🔍
サンプリング
地図
過去データ集
写真 (公開)
写真 🔍
教員紹介
リンク

補習対象者は
必須。
復習にも便利

東北ブロック

事前講義資料

- 時間割
- 教室案内
- MOOC動画視聴の手引き
- 初回ガイダンス資料(ｽﾗｲﾄﾞ)
- 初回ガイダンス資料(配布用)

Mooc動画 (6/30 23:59期限)

JV-Campus 参加登録して視聴ください。

- Week 1 小テスト/Quiz
- Week 2 小テスト/Quiz
- Week 3 小テスト/Quiz
- Week 4 小テスト/Quiz

6月13日

- 研修会の概要①
- 研修会の概要②
- Mattermost 諸連絡

自由視聴です

事前講義

6月20日

9:30	事前講義概要・研修の趣旨 (30分)	藤原智子 (大阪大学)
10:00	地震当日から現在まで (60分)	栗本聡 (大阪大学)
11:00	休憩 (10分)	谷畑勇夫 (大阪大学・核物理研究センター)
	放射線の物理 (80分)	
12:30	現地までの移動と集合解散・キャンセルポリシーについて (10分)	
12:40	昼休憩	
13:30	放射線の生物影響とそのメカニズム (80分)	中島裕夫 (大阪大学・核物理研究センター)
	休憩 (10分)	
15:00	身の回りの放射線 / 放射線と化学 (80分)	齊藤敬 (尚絅学院大学)
	休憩 (10分)	
16:30	放射線測定の方法と統計処理 (60分)	吉田裕介 (大阪大学・核物理研究センター)

事前講義

6月27日

9:30 安全管理・採取方法の講義（60分）

10:30 採取実習（2時間）

12:30 現地までの移動と集合解散・キャンセルポリシーについて（10分）

12:40 昼休憩

13:30 測定実習・議論（3時間）

※2グループに分かれて実施

事前講義

7月11日

9:30	社会の中の放射線 (60分)	中村征樹 (大阪大学・全学教育推進機構)
10:30	除染と最終処分 (60分)	村上道夫 (大阪大学CiDER)
11:30	休憩 (10分)	チューター 他
	研修地の紹介 (30分)	
	1F見学に関わる提出書類記入の注意点 (10分)	
	原子力規制人材育成事業 (CREPE) について (10分)	
12:30	現地までの移動と集合解散・キャンセルポリシーについて (10分)	
12:40	昼休憩	
13:30	測定実習・議論 (3時間)	
	※2グループに分かれて実施	

謝辞

この研修は、福島県浜通り地域の自治体（飯舘村、大熊町、双葉町）および住民の方のご理解とご協力のもとに成り立っています。

この研修は、以下の事業の補助を受けて実施しています。

福島イノベーション・コースト構想推進機構

「大学等の「復興知」を活用した地域共創人材育成・定着推進事業」

原子力規制人材育成事業

「社会との共創による原子力規制人材育成プログラム」

また、以下の基金からの補助も受けています

東北大学校友会基金

「実生 Global Leadership 基金」

たくさん知識を身に着けて実りある研修を！

注意事項

研修で得たデータの取り扱い

本研修や研修で取得した試料やデータをどこかで発表することは歓迎ですが、その場合必ず事務局に連絡をして下さい。データを発表する場合は自治体の許可を得ることになっています。

この研修は、自治体との信頼関係により成り立っています。許可なく発表することにより自治体との信頼関係を失います。

参加学生全員に課せられる課題

- ① 事前講義・座学
- ② 事前講義・試料採取実習
- ③ 事前講義・測定実習
- ④ 事前講義・議論実習
- ⑤ 事前講義・測定レポート提出（初回参加学生のみ）
- ⑥ 事前講義・議論レポート提出（初回参加学生のみ）
- ⑦ 現地研修参加
- ⑧ 現地研修・測定レポート（初回参加学生のみ）
現地研修・活動報告書（チューターのみ）
- ⑨ 成果報告会

①～④未受講、⑤⑥未提出の場合研修参加キャンセル

参加を推奨

発展放射線実習

参加を募集（各研修から2名程度）

自治体報告会

活動内容

事前講義

6月20日（土）、6月27日（土）、7月11日（土）

現地研修

第一回 8月23日（日）～8月28日（金）

第二回 9月7日（月）～9月12日（土）

成果報告会

第一回 10月3日（土）

第二回 10月11日（土）

発展放射線実習（希望者のみ）

研修終了後、日程調整

自治体報告会（代表者のみ）

研修終了後、日程調整(例年2月)

イノベ報告会

（代表者のみ3名程度）

8月28日（金）・29日（土）

復興知分科会

（代表者のみ人数未定）

日程未定

参加学生全員に課せられる課題

- ① 事前講義・座学
- ② 事前講義・試料採取実習
- ③ 事前講義・測定実習
- ④ 事前講義・議論実習
- ⑤ 事前講義・測定レポート提出
- ⑥ 事前講義・議論レポート提出
- ⑦ 現地研修参加
- ⑧ 現地研修・測定レポート（初回参加学生のみ）
現地研修・活動報告書（チューターのみ）
- ⑨ 成果報告会

①～④未受講、⑤⑥未提出の場合研修参加キャンセル

参加を推奨

発展放射線実習

参加を募集

自治体報告会

復興知報告会・復興知分科会

浜通り研修注意事項

団体で行動するにあたり、規律のある行動を心掛けてください。

1. 事前講義、研修期間中のプログラム終了後の参加者間の交流に関する注意事項:

- 事前講義や研修期間中の飲酒について、20歳未満の飲酒、イッキ飲みを含めた過度な飲酒、飲酒の強要、その他ハラスメント行為やそれと疑われる行為は厳禁です。交流は指定されたオープンスペースで行い、決して個人の宿泊部屋を使用しないようにしてください。（翌日の活動に影響の出ない範囲で交流してください）

2. 夜の行動に関する注意事項:

- 研修期間中、22時以降の外出は原則禁止です。特別な理由がある場合は、事前に教員に相談してください。（申告を受けた教員は組長に共有すること）
- 夜間（21時以降）の騒音や迷惑行為は厳禁です。他の参加者や近隣住民に迷惑をかけるないようにしましょう。

3. ルール違反に対する対応:

- 違反行為が発覚した場合、研修参加の即時終了、以降の浜通り研修に関わる活動への参加見合わせなどの措置を取らせていただきます。
- 重大な違反があった場合は、大学の規則に基づき厳正に対処します。

公共の場では、大人数で行動するだけでも、一般の利用者や通行の妨げとなることもあります。団体行動時には、個人行動時以上に周囲への配慮が求められます。自分たちが周囲からどのように映っているか、また、どのように思われているか、他者への思いやりの気持ちを持った自覚ある行動を心掛けてください。

2026年度 浜通り環境放射線研修 事前アンケート

研修が始まるまでに回答しておいてください



Japanese



English